

[カムヒア] Come HIA

Hyogo International Association

県政150周年記念 ひょうご多文化共生のつどい

11月11日(日)に「世界のふれあいひろば」フェスティバルを神戸中華同文学校で開催しました。今回は、アジアや日本の子どもの教育支援を行っている国際チャリティ団体の Kobe Global Charity Festival (KGCF)との合同で行いました。

当日は、雲ひとつない快晴の下、日本で暮らしている外国人にルーツを持つ県民の方をはじめ、学生や小さいお子さんを連れたファミリー世代、シニア世代など約3,200人の方々が会場に集まり、運動会や世界のダンス演奏会を見学したり、世界の料理屋台村で食事をしたり、子どもと一緒にゲームや買い物を楽しむ姿があちらこちらで見受けられました。国籍や年代を越えたふれあい交流の輪が広がるのを感じました。



開会式では、神戸中華同文学校による獅子舞演技が披露されました

当日プログラム

- 運動場でのイベント
開会式、オープニング
国際運動会
チャリティゲーム
フリーマーケット
世界の料理屋台村
- 校舎・体育館でのイベント
NPO/NGO紹介コーナー
ポスターセッション 等
世界のダンス演奏会(第1部)
世界のダンス演奏会(第2部)
フィナーレ、閉会式

★世界のダンス演奏会(第1部)

- ・民族楽器演奏(神戸華僑総会)
- ・テコンドー(民団オリニ土曜学校)
- ・ベトナムラップ(NAM)
- ・独舞(西神戸朝鮮初級学校)
- ・ペルーダンス(フィリアル大阪)
- ・サンバカーニバル
(日伯協会、神戸ブラジル協会)
- ★世界のダンス演奏会(第2部)
- ・聖ミカエル国際学校少年合唱団
- ・ベリーダンスショー
- ・若手アーティストの民族演技



来場者も参加して玉入れ競争を行いました

主催 ★多文化共生のつどい実行委員会

神戸華僑総会、在日本印度商業会議所、在日本大韓民國民団兵庫県地方本部、
在日本朝鮮人総聯合会兵庫県本部、関西ブラジル人コミュニティ(CBK)、
ひょうごラテンコミュニティ、ベトナム夢KOBE、兵庫県外国人学校協議会、
NGO神戸外国人救援ネット、たかとりコミュニティセンター、神戸定住外国人支援センター、
CHIC、ネバール商工会議所、兵庫県国際交流協会

(順不同)

発行問合せ／(公財)兵庫県国際交流協会

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5-1 国際健康開発センタービル 2F

TEL 078-230-3260 FAX 078-230-3280 URL <http://www.hyogo-ip.or.jp/>

Hyogo International Association

International Health Development Center, 2nd Floor, 1-5-1 Wakinohamakaigan-dori, Chuo-ku, Kobe, Hyogo 651-0073 JAPAN



多文化 共生の窓



多文化共生を考える研修会2018を開催しました。

8月20日から8月27日まで4回にわたり、多文化共生の魅力や課題について考える研修会を開催しました。

兵庫県には、現在156カ国約10.4万人の外国人県民が住んでおり、様々な場面で接する機会が増えてきています。文化や言語生活習慣の違いを認め合い、互いに尊重しあう多文化共生社会の実現が必要であることを改めて認識しました。



研修風景

第1回目

第1回目(8月20日)【総論～多様性と生きるために】

★「少年時代の在日コリアンとの出会いが映画づくりにもたらすもの」

講師：行定勲氏（映画監督）

～講師の少年期の経験談とその後の映画づくりの考えについての講話を聴きました。

★「外国人の子どもと貧困 ～minami子ども教室を取材して～」

講師：宣 英理氏（NHKディレクター）

～子ども教室に通う外国人の子どもたちの生活の実態と課題についてテレビ取材から見えてきたものについて考えました。

第2回目

第2回目(8月22日)【外国にルーツを持つ子どもの教育】

★「CLD児にみられる発達の問題 ～子どもの困り感と支援のニーズ～」

講師：近田 由紀子 氏

（文部科学省初等中等教育局国際教育課外国人児童生徒等教育支援プロジェクトオフィサー）

～文化的・言語的に多様な背景を持つ児童(CLD:Culturally and Linguistically Diverse)の現状と支援の方策について文部科学省の取組方策について学習しました。

★「学校におけるシチズンシップ教育のあり方 ～多文化共生の観点も含めて考える～」

講師：藤原 孝章氏（同志社女子大学特任教授）

～仮想社会「ひょうたん島」の多文化の共生方法の課題とその解決方法について検討しました。

第3回目

第3回目(8月24日)【外国人をめぐる今日的状況】

★「今日における『外国人』問題とはなにか」

講師：近藤 敦氏（名城大学教授）

～増加する技能実習生の労働問題や、留学生の労働問題、外国にルーツを持つ子どもの教育問題等、今日の外国人住民を取り巻く現状と課題等について学習しました。

★「技能実習制度と実態～中部地方の事例から～」

講師：博松 佐一氏（愛知県労働組合総連合議長）

～外国人技能実習生の劣悪な労働環境や生活実態の事例紹介を通じて、外国人労働者の課題やサポート体制のあり方について考えました。

第4回目

第4回目(8月27日)【日本と海外の多(他)文化への対応】

★「外国人政策の歴史的変遷 ～在日コリアンの歴史から～」

講師：文 京洙氏（立命館大学国際関係学部特任教授）

～在日コリアンの事例を通して、日本で生活する外国人住民の活動や日本の外国人政策の課題等について学習しました。

★「多文化社会ケベックの挑戦 ～インターナルチュラリズムという方法について～」

講師：竹中 豊氏（日本カナダ学会顧問）

～カナダ・ケベック州の事例を通して、インターナルチュラリズムの概念と方法について学習しました。

pickup → 1 平成30年度第2回国際協力入門セミナー



12. つくる責任
つかう責任
持続可能な消費と生産の
パターンを確保する

9月29日(土) JICA関西にて、セミナー「SDGs*入門ー未来につなげる新しいライフスタイルー」を開催しました。近年、注目が高まっているSDGsをテーマにSDGs目標12**「つくる責任、つかう責任」の「つかう責任」に重点を置き、2部構成で行いました。第1部では人類の危機に対して、世界各地での様々な取り組みを紹介するフランス映画「TOMORROW パーマネントライフを探して」を上映し、第2部では一般社団法人ソーシャルギルド代表理事の山本佳史氏をファシリテーターにお迎えし、カードゲーム2030SDGsを実施しました。会場には県内のNGO団体ブースを設け、3団体が活動内容の紹介やエシカル商品の販売を行いました。参加者からは「映画やゲームを通して社会のつながりを実感した」、「自分の考え方を改める良いきっかけとなった」など、セミナーを高く評価する感想が寄せられました。

SDGs=Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)



ファシリテーター山本佳史氏の解説



カードゲーム2030SDGsプレーヤー交渉中



ゲーム終了後「振り返り」の時間



エシカル商品物販ブース

*SDGsとは2015年9月の国際サミットで採択された2030年までの

国際開発目標Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称です。

**SDGsが定める17の大目標のうちの目標12「つくる責任、つかう責任」

pickup → 2 留学生の白さん HIAでインターンシップに参加



多文化共生イベントで受付を担当する白さん



「インターナショナルふれあいデー」での様子

9月3日(月)から7日(金)まで、中国からの留学生、白宇さんがHIAでインターンシップに参加しました。現在、関西学院大学の大学院で言語コミュニケーション文化研究科に所属している白さんは、日中の友好関係の架け橋になりたいと話し、インターンシップ期間前に行われた多文化共生に関するイベントや、ひょうご国際プラザギャラリーで行われた「インターナショナルふれあいデー」でも積極

的にスタッフとして子ども達と交流してくれました。

インターンシップ期間中も、真面目な姿勢で業務に取り組んでくれました。特に6日、7日に神戸ポートアイランドで開催された国際フロンティア産業メッセでは、中国人のお客様対応・日中通訳などに奔走し、大活躍でした。

今回の経験を糧に、今後も一層活躍されることを期待しています。



産業メッセでの様子(左端が白さん)

災害時における 外国人支援訓練

9月2日(日)に、香美町で平成30年度兵庫県但馬地域合同防災訓練が行われました。会員団体である香美町国際交流協会・豊岡市国際交流協会と日本語学習支援団体の「NPO法人にほんご豊岡あいうえお」にも協力いただき、7カ国29名(日本人を含む)が参加しました。大きな地震が発生したとの想定のもと、津波からの避難、閉じ込められた電車内からの脱出訓練、起震車での地震の揺れなどを体験し、参加した外国人はその恐ろしさに驚いたようでした。

避難所を利用する際、外国人も日本語で「氏名・住所・連絡先等」を伝える必要があるため、これらの読み書き訓練を行いました。また、各市町の避難所にも多言語の「避難者カード」を設置するなど外国人避難者への対策を盛り込んでもらう必要があります。運営方法について策定するのは行政が主体となりますが、各国際交流協会から地元行政へ働きかける必要性についても認識してもらうよい機会となりました。



震度7を体験



避難者登録カード記載訓練には兵庫県知事も視察に来られました



会場内の案内表示を多言語表記しました



平成30年度 第1回スペイン食文化交流教室

1月30日(金)、日本とスペインの外交関係樹立150周年を記念して、今年度の第1回食文化交流教室をスパニッシュタパスバル La Lunaで開催しました。11時からと14時からの2部制で行い、合計35名が参加しました。講師には神戸在住のスペイン人、ダビット・ロドリゲスさんとシルビア・モレ

ノさんを招き、スペインのワインや特産品、スペインのクリスマスについて、地域色豊かな興味深いお話ををしていただきました。

La Luna店主・吉野シェフがスペイン各地で学んだスペインの代表的な料理、赤エビと魚介のメロッソやガリシア栗豚のロースト(シェリー酒オロロソのソース)などがふ

るまわれ、参加者はビエルソ産の赤ワイン・ペティトを飲みながら楽しみました。

また、兵庫EU協会からデザートの提供があり、クリスマスの時期にぴったりな甘いマスカットワインを生地に練りこんだ焼き菓子・ロスコ・デ・ヴィノを堪能しました。スペインの文化を五感で体験する良い機会となりました。



シルビア・モレノさん



ダビット・ロドリゲスさん



参加者は積極的にスペインの文化について質問しました

HIA国際交流バスツアー in 赤穂

12月1日(土)にHIA国際交流バスツアーを実施し、赤穂市を訪れました。赤穂市及び赤穂観光協会と共に催した今回のバスツアーには日本人10名と外国人30名が参加し、塩作り体験や昼食での歓談、坂越まち並み散策などを通じて交流を深めました。

赤穂市立海洋科学館・塩の国では、かん水を土鍋で煮立たせて作る日本の昔ながらの塩作りを体験しました。続く大石神社、赤穂城跡の見学では地元のガイドさんが詳細に歴史的背景を説明し、海外でも名高い赤穂四十七義士について深く知ることができました。昼食は海鮮問屋・城で旬の牡蠣を豪快に炭火焼にし、サザエなどの新鮮な魚介を堪能しました。終盤は、静かなたたずまいの坂越のまち並みを、健脚組とゆるり散策組とに分かれて楽しみました。妙見寺観音堂から一望できる景色は絶景で、もう一度来たい!という声もありました。



塩の国での塩作り体験



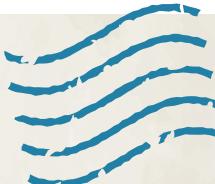
大石神社にて水みくじ初体験!



浜焼きスタイルの店で牡蠣を堪能



妙見寺の色鮮やかな紅葉に感動



オーストラリア



夏の海外研修を西オーストラリアで

夏休みに海外研修を!西オーストラリアが中学・高校生の交流のメッカとなっています。それにはワケがあります。第1に時差が少ないこと。そのため、インターネットを介して授業中の交流もできます。第2に季節の逆転。日本では夏休みでも受け入れ側のオーストラリアでは通常の授業期間のため、授業への参加なども可能です。第3にオーストラリア人の日本語・日本文化への関心が高いこと。日本語が外国語の中で一番人気があります。第4に治安が良いこと。これらの理由で

オーストラリアが交流先として選ばれ、この夏、パースには公立中学・高校だけでも30団体360人の訪問がありました。

西オーストラリア州・兵庫文化交流センターでは、交流校のマッチングや学校以外の見

学先紹介のほか、オーストラリアについてのガイダンスやホームステイを楽しく過ごすコツなどのレクチャーを行い、パースを訪れるみなさんが安心して充実した活動を行えるようサポートをしています。



和やかな自己紹介タイム：明石・モーリー高校の交流



センター会員とのBBQ交流：西脇高校



ひょうごの仲間たち～ NPO法人実用日本語教育推進協会(THANK's) にほんごの教え方、教えます



にほんご交流サロン



マンツーマンレッスンの様子

HIAが「外国人県民・児童生徒の居場所づくり事業」により支援している団体の一つ、「NPO法人実用日本語教育推進協会(THANK's)」の「にほんご交流サロン」を取材しました。

2004年に7人の設立メンバーの頭文字をとってTHANK'sを設立。にほんご交流サロンは、プロ講師とボランティアが外国人への日本語教育を核として、教え・学び・交流することを目的に、2005年1月にNPO法人としてスタートしました。現在はサロン(日本語教室)がHAT神戸にて週3回開講されており、日本語レッスンはボランティアによるマンツーマンレッスンが中心です。レッスン後は、ティータイムがあり、学習者は和やかな雰囲気でお茶とお菓子を食べながら、いろいろな国の人と日本語で交流していました。

日曜日のサロンでは、プロ講師によるグループレッスンがあり、ボランティアはその授業を見学して教え方を学ぶことができます。学習者向けに、9カ国語対応のオリジナルのテキストを作成。また、教えるためのポイントをわかりやすく記載した指導書も作成し、日本語の指導に用いています。「ボランティアに教える面白さを伝え、とにかく楽しいと感じる教室にしたい。」と代表の浅田さんは語られました。取材した前日には年に一度のバザーが開催され、列を作るほどの大盛況だったとのこと。ボランティアからは「地域の方が毎年楽しみにしてくれて嬉しい」「顔を合わせて地域の方と交流できる機会を大切にしたい。」との声が聞かれました。

「将来的には、地域の小学校や中学校など



THANK'sで作成されたオリジナルのテキスト
(中級: 学習者用・指導者用)

もっと身近な場所に、交流サロンができる、地域全体で外国人を支えられるような社会になれば」と願う浅田さん。

走り出して15年。これからもボランティアの育成と、外国人と地域の未来のカタチを求め、新しい居場所づくりに貢献していくことでしょう。

[NPO法人実用日本語教育推進協会事務局]
TEL 078-891-3030 FAX 078-891-3031



お月見団子作り



「伝統と躍動のミャンマー」写真展

10月1日(月)から31日(水)まで、ひょうご国際プラザ交流ギャラリーにて「伝統と躍動のミャンマー」写真展を開催しました。

本展では、ミャンマー(ビルマ)を愛する14人の日本人・日本在住のミャンマー人によるミャンマーの伝統や歴史、美しい自然とともに生きる人々の暮らしを切り取った素敵な写真を、たくさんお届けしました。

会期中は、作品出品者の方々が順に自身のミャンマーライフを話すリレートークも行われました。ミャンマー人の文化と心に触れたという体験や、80歳を過ぎてもバックパッカーをされている方の体験、あまり知ることのできないロヒンギャ問題の実状などを聞くことができました。

質疑応答ではさかんに質問がなされ、参加者の関心の高さがうかがえました。



第2回リレートークの様子



写真展会場の様子

平成30年度兵庫EUセミナー 「駐日ラトビア大使講演会」

2018年がラトビア建国100周年にあたることから、これを記念し、10月30日(火)に駐日ラトビア共和国特命全権大使ダツェ・トレイヤ=マスキー閣下を講師に迎え、「Latvia. Snapshot Stories.」と題した講演会を開催しました。冒頭トレイヤ=マスキー大使より、ラトビアの文化・歴史・習慣などについて紹介があった後、日EU経済連携協定と日EU戦略的パートナーシップ協定に対するラトビアの期待と展望について説明がありました。また、EU加盟国においてラトビアが著しい経済成長率を誇っていること、同国の起業環境や投資環境の優位性についてPRされました。

質疑応答では、ラトビアでの日本語教育事情、ラトビアの抱える諸課題、歌と踊りの祭典など幅広い分野について来場者から積極的な質問がなされました。

駐日ラトビア共和国特命全権大使
ダツェ・トレイヤ=マスキー閣下による講演の様子

質疑応答の様子

トライやる・ウィーク 中学生が国際交流・協力の職場を体験しました!

11月5日(月)から9日(金)までのトライやる・ウィーク期間中、神戸市の4つの中学校(渚、御影、魚崎、太山寺)から7人の中学2年生を受け入れました。

中学生たちは、外国人に教える「やさしい日本語」や兵庫県を訪れる外国人の学校交流の話、また、JICA関西で海外協力隊の体験談や大学コンソーシアムひょうご神戸で留学生との交流の話などを聞き、オーストラリア出身の国際交流員(CIR)との英会話交流も楽しみました。一方で、ひょうご国際プラザでの図書の整理、イベントのチラシやパンフレットにかかる作業、総務の仕事等、地道で根気のいる縁の下の力持ち的な仕事も頑張りました。最後にComeHIA広報誌の記事についてグループで話し合って意見を出してもらい、将来につながる充実した5日間を過ごしました。



日本語教師についてのお話を聞いて考える



イベントのチラシをファイルに入れる作業



CIRと交流トークを楽しむ

2019 HIA イベントカレンダー(予定)

(変更になる場合もありますので、ホームページで確認してください。)

1月	イベント	1/24 ハンガリー食文化交流教室
	研修	1/27 カエルキャラバン
	プラザ図書	1/26 外国につながる子どもへの日本語・学習支援を考える研修会
	ギャラリー展示	災害・防災特集
2月	イベント	「にっぽん-大使たちの視線写真展2018」(~1/10)
	研修	2/2 地域に根ざした日本語支援を考える研修会
3月	プラザ図書	2/3 第2回多言語通訳ボランティア研修
	イベント	中国特集
3月	プラザ図書	3/16 「交流の集い 2019」
	イベント	世界の女性たち
	ギャラリー展示	「環境教育ポスタークール企画展」 (3/18~3/29)

HIAのHPがリニューアルしました!

イベントに参加したい! もっと知りたい!



ひょうご国際交流メールマガジン

検索・登録はココから
<http://www.hyogo-ip.or.jp>

県内の国際交流(多文化共生・教育・文化)に関する最新イベント等の情報を、
月2回配信中!※多言語での配信あり

登録無料



検索